

2025年度 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修実施要綱

1. 本研修の目的

社会福祉士は、それぞれの実践の場において、ソーシャルワーカーとしての役割と機能を果たすことが求められています。これらの役割と機能を果たしていくために、(公社)日本社会福祉士会では、生涯にわたり研鑽を積み重ねて行くべき共通の研修課題として、「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」の6つの共通基盤を設定しています。

今回の研修は、沖縄大学名誉教授である島村聡先生を講師に迎え、「沖縄の実践現場から考える包括的支援につながる社会資源開発」について私たち社会福祉士がどのように対応し、どのような役割を果たしていくべきか、講義や演習を通じて学び合いたいと思います。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2. 期 日

2025年10月12日(日) 10:00~16:00 (受付:9:30)

※申し込み期限2025年10月6日(月) 定員になり次第締め切ります。

3. 場 所

茨城県水戸市千波町 1918 番地 セキショウ・ウエルビーイング福祉会館3階 「多目的ホール」

4. 対象者

福祉現場で実践を行っているすべての社会福祉士 定員50名
(非会員・他県士会の会員・介護相談支援専門員・相談支援専門員・社会福祉協議会職員で地域作りに関心のある方も受講可能です。)

5. 研修日程

裏面、研修プログラムのとおり

6. 受講料

会員:4,000 円 非会員の社会福祉士:8,000 円

介護相談支援専門員・相談支援専門員・社会福祉協議会職員で地域作りに関心のある方:10,000 円

※定員を超えた場合は、会員を優先します。

7. 申し込み方法

○茨城県社会福祉士会のホームページにある専用フォームからお申込みください。

掲載ページ:研修情報→茨城県社会福祉士会主催→共通基盤研修

◆アドレス→

右の QR コードを読み取ると、申込フォームにアクセスできます。

<https://www.csw-iba.org/mailform.php?code=100>



ホームページからのお申込みが難しい場合は、メールで事務局までお問合せください。

○申込後、事務局から請求書を送付いたしますので、お近くの金融機関から指定口座に参加費用を振り込んでください。なお、振込手数料は各自ご負担ください。

○振込が確認でき次第、受講票をお送りします。当日は、忘れずに受講票をお持ちください。

○受講申し込み後、欠席または申し込み事項の変更があった場合は、速やかに茨城県社会福祉士会事務局までご連絡ください。

8. 懇親会について

研修会場近くの「がんこ家」にて17:30 から2時間程度の懇親会を開催します。

費用は6,000 円です。

○上記の研修申し込み専用フォームより一緒にお申込みください。

裏面に続きます

2025年度 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修プログラム

◆10月12日(日)

時 間	内 容
9:30~10:00	受付
10:00~10:10	オリエンテーション
10:10~16:00	《 実践研究 》 講義及び演習 講義・演習 「沖縄の実践現場から考える包括的支援につながる社会資源開発」 ワーカーが個々に取り組める実践から重層的支援への展開- 講師:沖縄大学 名誉教授 島村 聡氏 地域共生社会の実現においてソーシャルワーカーには、地域づくりの役割と他の専門職や住民、行政と協働を通じてのネットワーク構築が求められています。 しかし、地域の社会資源開発や関係者とのネットワーク形成は、専門性の違いや縦割りの組織構造による課題も多く、特にインフォーマル資源とのつながりは持ちにくい状況にあります。 現場発の課題について沖縄の包括的支援の実践を基に、住民主体の支援づくりや多職種連携を進展された島村先生から、効果的な手立てやヒントについて、講義と演習を通じて具体的に学び合ひましょう。

◆お問い合わせおよび参加申し込み先

茨城県社会福祉士会事務局

〒310-0851 水戸市千波町1918番地 セキショウ・ウエルビーイング福祉会館 5階

Tel:029-244-9030 FAX:029-244-9052 E-mail:csw-iba@ibaraki.email.ne.jp

講師紹介

島村 聡先生 (所属) 沖縄大学名誉教授、社会福祉士

【履歴】

市役所での福祉実務経験(障がい者全般、健康福祉計画策定、地域包括支援センターの立ち上げ、地域福祉、ホームレス、生活困窮者対策)の後、2013年から沖縄大学に移り、障害者自立支援制度や福祉コミュニティに関する講義を担当。2016年から沖縄県の子どもの貧困対策に関する調査および研修に携わっている。

学外では相談支援専門員、PSW、介護支援専門員、CSW、子どもの貧困対策支援員、パーソナルサポーター、地域定着支援センターワーカーなど、主に専門職の教育支援を行った。

2025年に大学を定年退官し、非常勤講師の傍ら、社会福祉協議会やパーソナルサポートセンターのアドバイザー、相談支援専門員のスーパービジョンを実施中。

【社会活動】

内閣府沖縄振興審議会委員、厚生労働省相談支援専門員研修コアメンバー、日本社会福祉士会アドバイザー、日本住宅会議理事、沖縄県障害者自立支援協議会委員、沖縄県障害者施策推進協議会委員、おきなわ障がい者相談支援ネットワーク理事、介護と福祉の調査機関おきなわ理事、沖縄県社会福祉士会顧問、沖縄県介護支援専門員協会顧問、おきなわふくしオンブズマン運営委員など

【主な著書】

地域包括支援センターのソーシャルワーク実践(共著 2006 中央法規)

ネットワークを活用したソーシャルワーク実践(共著 2013 中央法規)

障がい者ケアマネジメントの基本(共著 2015 中央法規)

実践!障がい者ケアマネジメント(共著 2022 中央法規)

改訂 障害者相談支援従事者研修テキスト「主任研修編」(共著 2024 中央法規)

改訂 障害者相談支援従事者研修テキスト「初任者研修編」(共著 2025 中央法規)

改訂 障害者相談支援従事者研修テキスト「現任研修編」(共著 2025 中央法規)

【伝えたい言葉】

世界には、きみ以外には誰も歩むことのできない唯一の道がある。

その道はどこに行き着くのか、と問うてはならない。ひたすら進め。ー ニーチェ ー